

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

021	1004	事務事業名	庁舎（施設・設備）の管理に関する事務		細事務事業名			公的関与	2				
課名	消防署	係名	庶務係	電話番号	089-964-5210	メールアドレス	syobo@city.toon.ehime.jp						
事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	直営・一部委託	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	6 消防・防災体制の充実		主要施策	(4) 消防・救急体制の充実					
事業の対象	施設利用者及び東温市住民			根拠法令									
事業の目的	最終的	防災拠点として、有事の際の避難場所の確保及び住民と触れ合える場所作りを行います。			今年度	個人および自主防災組織等の防災センターの利用率の向上を目指します。							
活動内容	防災センター内の体験施設の保守点検及び維持管理			非常用発電設備の保守点検及び維持管理									
	通信指令設備の保守点検及び維持管理			清掃委託及び庁舎内外の清掃整備									
	空調設備の運転及び維持管理												
成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標				
	防災センター利用者数		利用人数/目標人数(1,000人)		人	目標 1,000	1,000	1,000	1,000				
						実績 732	650						
						目標							
						実績							
予算費目	会計	一般会計			費目名	消防			費				
	直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	5,497千円	4,326千円	4,514千円								
	計(A)	5,497千円	4,326千円	4,514千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.091人 676千円	0.091人 687千円	0.091人 686千円									
	臨時職員工数・経費	0.000人 0千円	0.000人 0千円	0.000人 0千円									
全体事業費(A+B)		6,173千円	5,013千円	5,200千円									
一次評価者	庶務係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	充実した施設管理を実施することにより、地震・濃煙等の疑似体験を学ぶことができ、災害時における迅速な対応が可能になります。												
有効性	各種災害時の対応が的確に行え被害の軽減が図れます。												
達成度	災害時の対応は迅速に行えているが、防災センターの利用率の向上を図る必要があります。												
効率性	PR手段を見直す必要があります。												
当面の課題	市民の防災センター見学者数が少ないので、気軽に利用できるような環境づくりが必要です。												
改訂計画	昔の消防資器材を展示することや、各種訓練、催しにおいて防災センターのアピールを行います。												
二次評価者	消防署長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	少エネ対策等長期的な管理計画を検討してください。また、防災センターを市民にアピールし利用率向上に努めてください。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

021	1014	事務事業名	車両の管理に関する事務	細事務事業名		公的関与	2						
課名	消防署	係名	庶務係	電話番号	089-964-5210	メールアドレス	syobo@city.toon.ehime.jp						
事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間 年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし						
総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	6 消防・防災体制の充実		主要施策 (4) 消防・救急体制の充実						
事業の対象	消防署が所有する消防車両			根拠法令									
事業の目的	最終的	日常的な整備、点検又法的な点検を行うことにより、現場活動に支障をきたすことのないようにします。			今年度								
活動内容	車両の維持管理に関すること(日常管理)			車両(工作車)取り付けクレーンの保守点検及び維持管理									
	車両の車検・整備・修繕に関する事務			車両積載ポンプの検査事務									
	はしご車の保守点検及び維持管理												
成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標				
			事務の性質上指標設定にはなじまない。		目標								
					実績								
					目標								
					実績								
					目標								
				実績									
予算費目	会計	一般会計			費目名	消防			費				
直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考								
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	ポンプ車 1台								
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	広報車 1台								
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	指令車 1台								
	一般財源	4,954 千円	4,630 千円	4,754 千円	積載車 1台								
	計(A)	4,954 千円	4,630 千円	4,754 千円	水槽付ポンプ車 1台								
人件費(B)	正職員工数・経費	0.050 人 372 千円	0.050 人 378 千円	0.050 人 377 千円	救急車 3台								
	臨時職員工数・経費	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円	救助工作車 1台								
全体事業費(A+B)		5,326 千円	5,008 千円	5,131 千円	はしご車 1台 広報車 1台								
一次評価者	庶務係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	点検・整備を実施することにより、不備を事前に把握でき現場活動に支障が出ないようにするために必要です。また、車両の車検を受けることは、法的に義務付けられています。												
有効性	点検整備をすることにより不備を事前に把握でき、現場活動に支障が出ないようにします。												
達成度	点検整備をすることにより車両の有効活用が行えます。												
効率性	現場活動に於いて、事故を未然に防ぐため日常的な車両の管理は必要です。												
当面の課題	現時点では特に問題はありませんが、将来的には車両の老朽化の問題があります。												
改 革 計 画	計画に基づいた車両・機器の更新を行っていきます。												
二次評価者	消防署長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	日常の点検整備をより徹底し、災害出動に支障の無いよう維持管理に努めてください。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

021	1019	事務事業名	無線設備の管理に関する事務	細事務事業名		公的関与	2						
課名	消防署	係名	庶務係	電話番号	089-964-5210	メールアドレス	syobo@city.toon.ehime.jp						
事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	直営・一部委託	実施計画	非該当	事業期間 年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし						
総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	6 消防・防災体制の充実		主要施策 (4) 消防・救急体制の充実						
事業の対象	消防署が所有する無線設備			根拠法令									
事業の目的	最終的	定期的に点検を受けることにより、無線設備を常に有効使用できる状態に維持管理します。			今年度								
活動内容	超短波無線設備の保守点検及び維持管理												
	県内共通波無線設備の保守点検及び維持管理												
成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標				
			事務の性質上指標設定になじまない		目標								
					実績								
					目標								
					実績								
					目標								
				実績									
予算費目	会計	一般会計			費目名	消防			費				
直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考								
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円									
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円									
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円									
	一般財源	501 千円	501 千円	534 千円									
計(A)	501 千円	501 千円	534 千円										
人件費(B)	正職員工数・経費	0.018 人	134 千円	0.018 人	136 千円	0.018 人	136 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		635 千円	637 千円	670 千円									
一次評価者	庶務係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	現場活動において部隊間の連絡を密にすることは事故の防止につながるため、無線設備を常に有効使用できる状態に維持管理する必要があります。												
有効性	無線設備を円滑に運用するために定期的に点検を実施することは有効です。												
達成度	定期的に保守点検を実施することで、現場活動に支障をきたさないように有効に使用していますが、老朽化により一部の無線機に不具合が生じる頻度が多くなっています。												
効率性	無線設備を円滑に運用するために保守点検を受けることは必要です。												
当面の課題	一部の無線設備(無線機)が経年劣化により、不具合が生じる可能性があります。												
改革計画	無線のデジタル化が近づいていますので、現時点でのアナログ無線機の新規購入はできないため修繕により対応します。												
二次評価者	消防署長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	日常の点検整備をより徹底し、現場活動に支障の無いよう維持管理に努めるとともに、デジタル化の導入に向けた検討をしてください。												